

平成 22 年 12 月 14 日 「受賞」

掲載日:2010 年 12 月 14 日

平成 22 年 12 月 14 日 「受賞」

12 月 13 日

ウサビの中の人が所用で愛知県に出かけていたこの日、

第 11 回 山形ふるさと CM 大賞の審査会の模様が TV 放映されました。

今年の作品はりんごの海外輸出をテーマにした

「朝日町 ザ・ムービー ～りんご海外輸出編～」

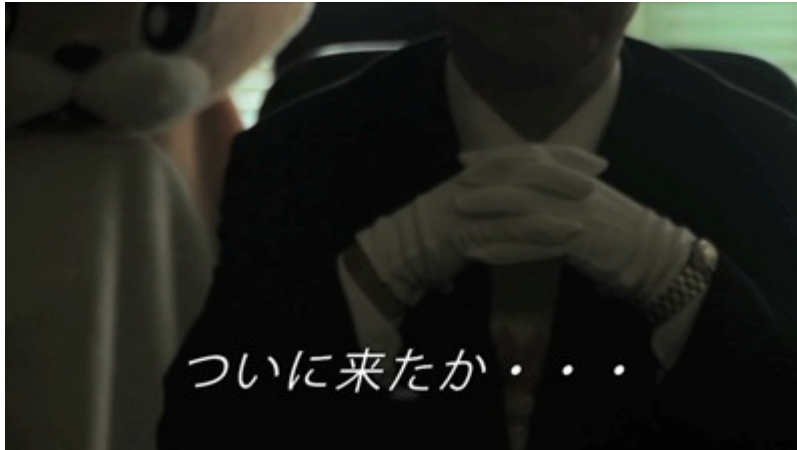
2004 年からスタートしたりんごの海外輸出事業。

その壮大なプロジェクトを外国のアクション映画の予告編のような

スピード感あふれる CM に仕上げたのが今回の作品です。

CM 内容はこんな感じです。

まるで某ロボットアニメの司令官風のカットから始まる今回の CM



どこかで見たことある人もいるはず。そう、あの人ですよ。

よく見るとネクタイはウサビネクタイ。

町の黒幕 「ついに来たか・・・」

その言葉に引き寄せられるよう町内を走るひとりの青年。



作業着にスーツ姿。おそらく役場の青年。

りんご畑を駆け抜けて大切な知らせを届けに行く。

時を同じくしてりんごの町・朝日町では

りんごにまつわる様々なドラマがおこっていた。



りんご畑でりんごパイまるかじり。町内産のりんごのおいしい食べ方のひとつ。

味はもちろん、りんごに囲まれて食べるからまた格別！

パイ提供：一心堂さん

信じられないだろ…この温泉…りんごが浮いているんだぜ…



そう！町が誇るほかほか施設「りんご温泉」

毎日だいたい6～10個ぐらいのりんごが湯船に浮いています。

謎の機械にりんごをセット！！



これ、なんの機械かわかりますか??

産直和合にお越しいただければわかります。

100円で動かしてもらえますよ。

そして、作者お気に入りのこのカット



スピードスプレーヤーといいます。

農薬を散布する機械です。

映像だからできるダイナミックな存在感の演出。

すべては朝日町にある日常のものだけれど

それは見方によってはとてもドラマチックだと言うことが

僕がこのCMにこめたメッセージです。

そして一瞬だけ映るりんご収穫のシーン



きっといいりんごが採れたのだと思うのです。

だって太陽がそれを祝福してくれているから。

様々なドラマを超えて、役場にたどり着く青年。



息を切らして到着する。

その背中には町の獣「カモシカ」も見守っている。

ちなみに後ろの額には

「まるかじりだっていいじゃないか とれたてだもの」

と書いてあります。(みつ 先生の詩みたいですが自作です)

そうして

顔を上げた青年は声高らかに宣言する



「りんごの海外輸出がきました！」

おいしさの追求とお客様を求め、

新しい挑戦を続ける町その名は

朝日町



そう、朝日町!!!

と、こんな感じのCMです。

たくさんの方のご協力によってこのCMが完成しました。

この場を借りてご協力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

なお

[CM 映像は YTS さんのふるさと CM 大賞紹介ページで見ることができます。](#)

<http://www.yts.co.jp/furusato/index.html>

また、これからこの CM の製作した舞台裏のお話も紹介していくつもりですので、どうぞご期待ください。